

令和5年度第1回横須賀市健康増進計画・食育推進計画専門部会  
議事録

開催日時 令和5年7月6日（木） 午前10時00分～

会 場 ウエルシティ市民プラザ5階 第1学習室

出席者

委 員 磯崎順子、稲垣恭子、井上宜生、佐藤廣、高宮光、田中和美、  
中山直子、林但（敬称略、五十音順）

事 務 局 夏目 久也 : 健康部長  
川田 貴久江 : 健康部健康増進課長  
高橋 邦子 : 健康部健康増進課主査  
竹内 和美 : 健康部健康増進課主査  
広瀬 裕一 : 健康部健康増進課主査  
桑畑 小夜 : 健康部健康増進課主査  
望月 朋美 : 健康部健康増進課主任  
福岡 明子 : 健康部健康増進課主任  
勝又 綾子 : 健康部健康増進課主任

委託業者 1名

一般傍聴人 1名

欠 席 者 なし

- 1 開 会 事務局（健康部健康増進課長）が司会となり開会した。
- 2 配布資料の確認
- 3 部会員の紹介
- 4 健康部長あいさつ
- 5 事務局職員の紹介、議事録作成のため委託業者が1名同席の旨を報告した。
- 6 部会長の選出・職務代理者の指名  
部会長として高宮部会員を選出し、職務代理者として井上部会員を指名した。
- 7 本部会の流れについて事務局から説明  
これより先は、部会長による議事進行で行われた。
- 8 議 事  
議事（1）「健康増進計画・食育推進計画（健康・食育推進プランよこすか）令和4年度推進  
状況と令和5年度取り組み」等について  
事務局より、資料1及び資料2により、取り組みの分野ごとに、令和4年度推進状  
況と令和5年度取り組みについて説明した。
  - ・取り組みの分野
    - ①がん
    - ②循環器疾患・糖尿病

③健康づくりを目的としたネットワーク

④食育

⑤栄養・食生活

⑥身体活動・運動

⑦休養・こころの健康

⑧喫煙

⑨飲酒

⑩歯・口腔の健康

- ・部会長より、意見、質問等を求めた。

部会員意見等・資料の文字の大きさについて、見づらいと指摘があった。

- ・事務局より、資料3により、市民アンケートの集計結果について説明した。

- ・事務局より、資料4により、最終評価（案）について取り組みの分野ごとに説明し、部会長より意見、質問等を求めた。

取り組みの分野①がん、②循環器疾患・糖尿病

部会員意見等・医師会では、胃がんリスク検診に力を入れている。対象年齢を拡大し、さらに高い目標を立てて実施していきたいと思っている。

- ・歯科医師会では口腔がん検診について毎年実施していたが、コロナの影響などで中止していた。今後再開するかどうか検討している。

- ・国の第2次の最終評価でもメタボリックシンドロームの予備軍が国全体としてあまり良い効果がなく、大きな問題と思われる。検診受診率の向上に向けて、具体的な考えはあるか。また、地域差はあるか。

事務局回答

受診率を上げる取り組みについて、だれがどの検診を受けられるのか、見える化をしようという取り組みがある。地域差については、現時点では把握できていないが、データヘルス分析で、医療レセプトも含めて様々な検診データを地域別に捉えて確認ができるよう開発を進めている。近い将来には、地域の課題改善に向けて取り組みができるようになって行くと考えている。

- ・取り組みの分野③健康づくりを目的としたネットワーク④食育⑤栄養・食生活

部会員意見等・④食育について、子育て世帯の母親の視点からの意見。商業施設の入口にレシピカードがあり、忙しいと、1食1食に手間をかけるのは難しいので、メニューを提案する際には、保存のしやすさや冷凍のしやすさなどを考慮しながらおいしくバランスよく食べられるというようなアドバイスがあるとよいのではないかと。手に取ったり、作ったりすることに繋がると思う。

事務局回答

今後、情報発信する際の参考として、検討する。

部会長

給食に関してはどうか。

部会員意見等・私の子どもは、横須賀市の給食を美味しく食べている。

部会長 部会員の子どもは小学生か。

部会員意見等・小学生と幼稚園生。私の子どもが通っている幼稚園は、週に2日は外部の企業が作った一斉給食、3日は自宅から弁当を持参している。幼稚園内の給食センターで作っている幼稚園では給食を食べている園児が多いと聞いている。

部会長 校医として健診に行くと必ず給食を食べるようにしている。数年前に給食費が少し高くなったが、その分良くなってきたと感じる。

部会員意見等・③健康づくりを目的としたネットワークについて、評価指標「ラジオ体操登録団体数」の部分で意見。商工会議所では、企業に対して、健康経営優良法人認定を推進しており、地域の企業の認定を増やして行こうという活動をしている。その中の評価項目の中にラジオ体操をやるという項目があり、企業という単位で推進するにあたり、この評価指標があれば横須賀市の活動とリンクさせることで、話もできると思う。商店街で、ラジオ体操の時間を設けて買い物客に対して実施するという話も聞いたことがあるので、今後ラジオ体操登録団体数を拡大していくということであれば、企業にPRもできる。健康・食育推進プランよこすかが、従業員の健康の普及活動の一助になればいいと思っている。是非連携しながら事業者が健康になればいいと思う。

・③健康づくりを目的としたネットワークについて意見。小学校へのスポーツ推進委員の派遣では、身体能力測定をするために毎年2月に講習会をやっている。そこに派遣されて来る人が、最近大変わかりやすい資料を作ってくれており、教え方も上手で優秀な方が多く、スポーツ推進委員がその方から学ぶことも多い。学んだことを、学校で実施すると生徒さんが伸びる。この活動を始める10年ぐらい前は、全国平均を下回っている項目が多かったが、最近ではほぼ全国平均を上回っている。残念ながら唯一ソフトボール投げはなかなか伸びない。併せて、7月1日(土)実施した講座では、なかなかこの講座が受けられない人もいたので、動画撮影をして、受講できなかった人にも配信する取り組みをしようと考えている。

ラジオ体操については、目標が100団体ということだが、中間値や現状値は、70~80団体ぐらいとなっており、前からあまり変わってないような気がする。多分コロナ禍で、なかなか活動ができない期間があったと思うが、コロナ禍でも何かできる方策をしたら良いと思う。スポーツ推進委員で、登録している人も何人かいるので、お手伝いや一緒にやれる事があれば良いと思う。

また、少し残念な事では、今年度は小学校がラジオ体操のカードを小学生に配るのを止めた。止めた理由については、スポーツ振興課からも聞いていないので、今後確認する予定。

ラジオ体操は小学生の段階からやっておかないと、なかなか普及しないので、私の地域では、小学生にラジオ体操の実施時間や場所を周知してくれている。地域によって大人も子どもも沢山いるところもあれば、大人だけのところ、子どもだけになるところもあり、工夫が必要と感じている。自分が見たことを他のメンバーにも伝えるような事をもう少し工夫できないかと思い、助言をしながらやっではいるが、コロナ禍の最初の年になるので少し長い目で取り組んでいかなければいけないと思っている。

事務局回答

ラジオ体操のカードについては、小学校で配布しなくなったことは聞いているが、理由までは確認していないため、次回回答する。

また、ラジオ体操に関連して、現在はラジオ体操サポーターの養成をしていない。活動支援は、のぼり旗の用意やCDの交換。

5月ごろ、ある団体から、ラジオ体操を教えてほしいという要望があり、講師を紹介した。その団体は、直接地域の小学校に掛け合い、授業の一環で、地域住民と一緒にラジオ体操を実施したという報告を受けた。

・ 取り組みの分野⑥身体活動・運動⑦休養・こころの健康⑨飲酒

部会員意見等・⑨飲酒について、評価があまりよくない。国の最終評価も同様の様子なので横須賀市と同じ課題と思う。これまでの取り組みの中で、小学6年生、中学3年生で学習をしているということだが、高校生も気を付けたほうがいい。高校でも可能な限り広めていくといいと思う。

・ シルバー人材センターに来る人は就業を目的としているが、健康を望んでいる人が多い。横須賀市に協力いただき健康チェックを実施、市内の大学では歯周病に関する講義をお願いしたこともある。また、体操が好きな方も多く、女性はリズム体操的なものを企画すると参加者が多い。ラジオ体操では高齢者は自然に体が動く。先ほどの事務局からの話で、小学校で地域の人たちと一緒に実施することはすごく良いことだと思った。

・ 飲酒のところで適正な飲酒量は提示しているのか。

事務局回答

飲酒をメインテーマとして実施している教室はないが、生活習慣病予防教室などで、飲酒量の目安を提示している。

部会員意見等・⑧喫煙について、禁煙エリアなどは定めているのか。たばこを吸いながら歩いている人がおり、手を下すと小学生の顔に近い危険を感じた。

事務局回答 横須賀中央駅周辺では路上禁煙地区になっている。それについては、環境部が所管している。また、健康増進法が2020年4月に改正され、「望まない受動喫煙防止」をメインとして、屋外については配慮義務となっている。市民の方からお問い合わせをいただくこともあるので、市のホームページでたばこの害や受動喫煙防止の啓発を行っている。

部会員意見等・⑨飲酒について、評価指標に「1日に平均で飲む量が中瓶3本以上の割合」とあるが、中瓶で表すのが定例なのか。瓶で飲む人はあまりいないように思う。

・国の健康日本21（第2次）の中で、生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者（一日当たりの純アルコール摂取量が男性40g以上、女性20g以上の者）の割合の減少を目標としており、それを具体化した数値が中瓶3本と思われる。例えばロックならばこのぐらいとかそのような形で示して行くものの一つと考えられる。

・取り組みの分野⑩歯・口腔の健康

部会員意見等・フッ素の塗布についてアレルギー体質の喘息を持っている子に対しては、塗布はしないという説明を受けた。発生率など細かい話は聞いていないが、アナフィラキシーを起こした人がいるということだった。小学校でフッ素についての指導をしているということだが、注意喚起などはしているのか、また、リスクはどのくらいなのか。

・今年、某会社のフッ素材でアナフィラキシーショックが出た人の報告があり、全国で3名か4名。アナフィラキシーショックが出た人はアレルギーなど既往症のある人だったので、説明された先生は、そのフッ素材を使用する際に確認したと思われる。基本的にはほとんど問題はないと思って会社もそのままその商品の販売をしている。市の方ではなるべくしばらくは使わないようにしているということがあるのか。

事務局回答 市としては、商品の情報は入手している。その商品について、会社で検証しているという通知が来ているが、原因について科学的な根拠が得られていないので、納品時に十分な説明をするといった対応をしているとのこと。市から使用について特に言及していない。

部会員意見等・個人的な感想だが、60歳などの高齢者でも歯が残っている数が増えていると思う。小学校や学校歯科の事をやっていたが、学校の健診でもむし歯の全くない人はかなり増えている。やはり、小学校の健診でむし歯がなかった子は大人になってもほぼ全部残っていると思うので、子どもの時にむし歯にしないようにする取り組みもすごく大事ななと感じる。

部会長 歯の健診と予防接種をやっていない家庭はネグレクトが多い。健診も大事だが、健診をしていない人や予防接種をしていない人について、横須賀市が把握していると思うので、それを見つける必要があるかと思う。

#### 議事（２） 歯及び口腔の健康づくり推進計画最終評価について

事務局より、資料５により歯及び口腔の健康づくり推進計画最終評価について説明した。

- ・部会長より、意見、質問等を求めた。

部会員意見等・歯周病検診リスクの増加について、歯周病のクーポン券が届いたため、子どもの健診と併せて電話をかけたところ、検診には使えない、普通の検診をすれば歯周病のチェックもできるという事で、結局そのクーポン券は使えなかった。そのクーポンを使うとしたら、歯周病のチェックしかできないと言われたので、私と同じようにクーポン使わずに自分で受診した人が多いのではないかと思った。クーポンチケットを活用しづらいと感じた。

事務局回答 クーポン券は、歯周病検診という名前だが一応、むし歯があるかないか、歯が抜けていないかなど、口の状態を全部チェックする。委託医療研修という検診を受託する先生対象の歯科医師研修会で、今一度周知する。

部会長 評価指標について、例えば４ページの「12歳で永久歯のむし歯がある人の割合の減少」の目標値19%というのがわかりづらい。割合の減少が19%となってしまう。このパーセントは何を示しているのか。

事務局回答 「減少」をなくして、「12歳で永久歯のむし歯がある人の割合」とする。その他の評価指標についても、「増加」「減少」の表記を消す。

部会員意見等・アンケートの配布数3,400通は予算の関係で出した数値か。

事務局回答 市の人口から年代別に回答数を設定した。これに達するにはどのぐらい送ったら良いかという事で3,400通となった。

#### 議事（３） 食育推進検討部会の報告について

事務局より、資料６－１及び６－２により、食育推進検討部会の報告について説明した。

#### 議事（４） 今後のスケジュールについて

事務局より、資料10により今後のスケジュールについて説明した。

## 9 閉会

(以上)